

窓口業務時間外対応について

当面は予定していない

古越 日里 議員



問 若い世代の皆さんは共働きの世帯が多い。平日の時間内に窓口へ来られない町民の要望もある。この人達への住民サービスの今後の対応を問う。

町民課長 町の窓口業務の状況は16年度の主な諸証明



発行件数については、戸籍抄本、謄本が3千505件、住民票が8千930件、印鑑証明が7千591件である。3月はおおむね月平均の2倍、4月は1.5倍の件数が出ている。
総務課長 佐久市、小諸市でも10人程度の利用者という状況をみればあまり需要はないと思われる。

常に受け付けるわけではないが、緊急性の高いものには、「夕方ちよつと遅れる」と電話があれば6時からいまでは対応する状況もある。宿直等を利用しながらある程度の便宜は図っている状況である。

この様な状況であるので改まつての対応と実施については、当面予定はしていない。

コモンズ支援金 町の取り組みは

地域づくりに大いに活用する

朝倉 謙一 議員



問 田中知事の政策の目玉として、今年もコモンズ支援金として10億円の予算を組んでいる。このコモンズ支援金について町はどのように考えているか問う。

企画課長 コモンズ支援金制度は、平成17年度に創設された県事業である。地域づくりグループや、市町村



味工房みよた

の優れた取り組みをバックアップし、地域活性化のため市町村等に補助する事業である。

平成17年度の町の事業として4件採択された。さらに「味工房みよた」も採択され、80万8千円の事業費に対して、29万5千円が支援金として交付された。

平成18年度は、町の事業で4件、他の2団体より2件、計6件申請してある。18年度の申請事業費は718万6千円、うち支援金申請額は、452万9千円である。これからもこの支援事業を大いに活用し、地域活性化につなげていく。